Kuromatsunai

学校だより しりべし

No. 281

発行 北海道余市養護学校しりべし学園分校 令和 6 年 12 月 13 日 第 281 号

「新たな教育活動への挑戦」

教頭 出口博昭

今年も残すところあとわずかとなりました。保護者の皆様、地域の皆様、いつも本校の教育活動へのご理 解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。2 学期は、黒松内町の地域資源や地域人材とより一層 繋がり、地域の良さを活かした新たな教育活動を推進することができました。そのなかで、子どもたちの挑 戦する姿や成長する姿が多く見られました。

小学部では、ブナセンター職員による自然を活用した学習、老人ホームデイ・サービスセンターの利用者 との交流、白井川小学校との交流などを通して、地域での経験や興味の幅を広げることができました。中学 部では、じゃがいも農家や牧場経営者、調理師との交流を通して、黒松内町の魅力を知り、自分たちの日頃 の学習と関連させることで、地域のことを自分事として考え、社会とのつながりを確かめることができま した。高等部では、町内施設での現場実習やボランティア活動、作業学習で作った製品や農作物のの配付、 郵便局での学習などを通して、将来の生活を考え、地域に貢献し、自分の役割を果たす機会となりました。

学習発表会では、多くの方々にご来場いただき、一人一人が個性を発揮して、生き生きと日頃の学びを発 表することができました。泊を伴う学習では、社会体験を増やし、同級生との絆を深め、知的好奇心を高め る姿が見られました。これらの行事を通して、子どもたちが豊かな人生や生きる自信につながる貴重な経 験ができていることを、子どもたちの表情や変容から感じることができました。

このような子どもたちの成長は、保護者や関係機関、地域の皆様の温かな支えがあったからこそと思っ ています。さらに学校運営協議会委員の方々には、全教職員と子どもたちに必要な力や教育活動について 協議していただき、大きなお力添えを賜りました。関係する皆様には、心から感謝申し上げます。

3学期も教職員一同、子どもたちの可能性を引き出せるよう、これまでの教育活動を見つめ直し、新たな教育活 動に挑戦してまいりますので、引き続きご理解とご協力、ご支援をお願いいたします。

3学期の行事予定

12月26日(木) 2学期終業式

I 月 2 I 日(火) 3学期始業式

I 月 23日(木) 身体計測(小·中)

I 月 24日(金) 身体計測(高)

I 月 31日(金) 高等部入学選考検査

※高等部生徒は臨時休業となります。

2月 15日(土) 参観日

2月 17日(月) 振替休業日

2月 28日(金) 卒業生を送る会

3月 8日(土) 卒業証書授与式

3月 24日(木) 修了式·離任式

小学部見学旅行

小学部6年生は9月 19 日~20 日にかけて札幌方面に見学旅行に行ってきました。青少年科学館では地下鉄の運転シミュレーションを行ったり、竜巻を発生させる機械を操作したりと初めての体験に興味津々でした。サンピアザ水族館では、ヒトデや魚を実際に触れるなどしてたくさんの体験をすることができました。帰校してからも

見学旅行の事後学習でたくさんの思い出を振り返ることができました。今回の見学旅行で一回りも二回りも成長した6年生でした。



高等部 宿泊研修

| 10月17日、高等部1年生は、白老のウポポイ民族共生象徴空間で博物館見学やムックリ演奏体験でアイヌ文化に触れてきました。千歳ではB型事業所「おむねっと」で職場見学を、駅周辺で買い物とカラオケの自主研修。 | 18日は、ふるさと千歳水族館でバックヤードを見学し、 | 普段見ることのできない展示等に驚いたり、展示のための工夫を知ったり。3名が自分の宿研目標を意識しなが

ら過ごした2日間でした。そして仲間 の素敵な姿を発見することができた 宿泊研修となりました。



高等部 現場実習

令和6年9月4日(水)~18日(水)の期間で現場実習が行われました。

校内実習では、学校の敷地の除草作業や校内清掃などをしました。普段の作業と違って時間が長かったですが、すぐに日 課に慣れ、各作業に最後まで取り組むことができました。特に駐車場の白線引きでは、ペンキがはみ出さないようテープを貼り、 その中を丁寧にゆっくり塗ることができていました。

校外実習では、近隣施設の窓拭きや、事業所の仕事など、各々の実習に臨みました。初めての場所、作業種に不安もありましたが、施設の職員の話をしっかり聞き、質問しながら、一つ一つ丁寧に取り組むことができました。

町外実習では、伊達市の事業所で作業したり、普段とは違う場所で生活したりするなど、卒業後の生活に近い形態で実習し

|ました。将来の生活に見通しを持ち、今の自分にできることをしっかり取り組みました。 | | 事後学習では、それぞれが実習を通して、自分の得意なことと課題を見つけ、今後 |

お忙しい中、実習を受け入れてくださいました施設職員の皆様、送迎等にご協力 くださいました学園職員の皆様に、厚くお礼申し上げます。 (文責:近藤)

の学校生活や日常生活に生かしていくことを確認しました。





学習発表会







II 月9日(土)、第34回学習発表会が行われました。「はじまりのあいさつ」では、全校生徒が一言ずつ挨拶し、「にじ」の曲に合わせて手話行う動画を披露しました。小学部演目「しりべし姫と3人のこびと~王子を起こして~」では、りんごを食べて眠ってしまった王子を起こすため、児童が日頃の学習の成果を発表しました。中学部演目「ダーツの旅 黒松内編」では、地域の方々との交流を通して学んできた学習の様子を生徒一人一人の個性を生かしながら発表しました。高等部演目「伝える」では、「○○を△△で伝える」をテーマに、5つのグループで言葉や感情の伝え方を発表しました。観客の皆さんが参加する場面もあり、会場は楽しい雰囲気に包まれました。最後の演目「終わりのあいさつ」では、高等部3年生の2人が、客席にインタビューへ行き、感謝の気持ちをユーモアたっぷりに表現しました。演目中は、皆様からの温かいご声援を頂き誠にありがとうございました。(文書:田中)

いじめアンケート(II月)の結果

本校では、いじめとして認知した件数は〇件です。今後も、いじめがない学校づくりを目指して取り組んでいきます。